

JICA at a Glance

今、コロナ禍を乗り越えるために

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行は、人々の健康だけでなく、経済に甚大な被害をもたらす世界史的な出来事です。国際的な連帯や協力なくして、この克服は困難です。

JICAは、コロナ禍を乗り越え、新たな感染症にも強い社会の実現を目指して「JICA世界保健医療イニシアティブ」を掲げ、取り組みを強化しています。



ガーナ 野口記念医学研究所 への支援

中核研究拠点としての1979年の設立以来、同病院に対し、ハード・ソフト両面で継続して協力を実施。コロナ禍においても、PCR検査機器・試薬などの資機材の供与に加え、ガーナを含む西部アフリカ9カ国の検査技師を対象とした第三国研修の開催に協力した。



パレスチナ ラスト・ワン・マイル支援※

ワクチン輸送用のコールドチェーン機材や、新型コロナウイルス検査のための最新検査機器を供与。2021年5月の空爆で、ガザ地区唯一の検査機関も大きな被害を受けており、いち早く現地に届けられるよう協力した。



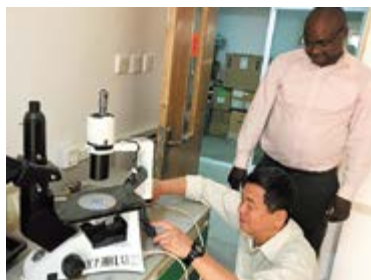
ベトナム 国立衛生疫学研究所 (NIHE) への支援

2006年から実験室の整備と能力強化に協力。NIHEは地方の検査機関とのネットワークを生かし、新型コロナウイルス流行の初期段階から全国規模で迅速なPCR検査体制の整備を主導した。JICAは検査機器などの供与も実施。



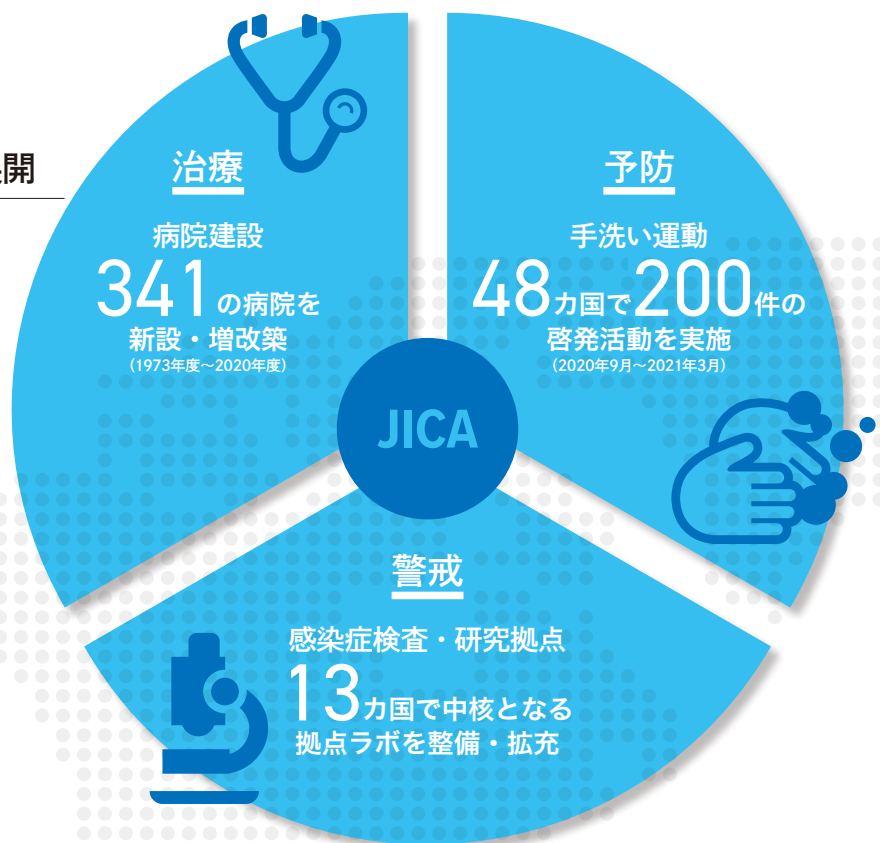
ナイジェリア 疾病予防センターへの支援

ナイジェリア疾病予防センターをはじめ、同センターが統括する公衆衛生検査室においても、高度な検査施設や機材を整備。また同センターのマネジメント能力、検査室機能、緊急時対応能力の強化のため人材育成も推進。



※ 日本政府が表明した、各国のワクチン接種体制を構築し、ワクチンを最後の一人にまで届ける支援。

「予防」「警戒」「治療」を
3つの柱として各国で協力を展開



モンゴル

日本モンゴル教育病院への 支援

病院建設と医療機材の整備を支援の後、高水準の運営管理と質の高い医療サービス提供体制づくりの技術協力プロジェクトを実施。同病院はコロナ患者を受け入れており、JICAは院内感染予防対策への技術協力、個人防護具などの供与を実施中。



日本発の コロナ予防・手洗い漫画、 32言語で普及

「JICA健康と命のための手洗い運動」の一環として、開発途上国の子どもたちに向けた「正しい手洗いの漫画」を制作。反響は大きく、アニメ化してテレビCMとして放映されるなど、32の言語に翻訳、活用されている(2021年7月現在)。



ブラジル

サンタクルス日本病院への フォローアップ協力

サンタクルス日本病院から日系社会研修に参加した研修員に対するフォローアップ協力を実施。院内感染を防ぐため、帰国研修員が中心となり新型コロナ感染防止ガイドラインの作成と感染予防への取り組みを実践中。



「JICA世界保健医療イニシアティブ」については、P.18 JICAの挑戦2、

④ JICAウェブサイト https://www.jica.go.jp/activities/issues/special_edition/health/index.html をご覧ください。

「新型コロナ特設ページ」④ JICAウェブサイト <https://www.jica.go.jp/COVID-19/ja/index.html> もご参照ください。